

人間総合科学学術院人間総合科学研究群博士前期課程
心理学学位プログラム 心理基礎科学サブプログラム 履修方法・修了要件

科目区	科目名称	修得単位数	標準履修年次	開講学期	曜時限	備考
基礎科目	必修「心理学方法論Ⅰ」	2	1	春AB	火1・2	合計2科目(4単位)
	必修「心理学方法論Ⅱ」	2	1	秋AB	火1・2	
	選択必修「心理学特別研究A」	2	2	春ABC	随時	通常はAとBを履修する Sは特別な事情で(留学・休学等)AまたはBが履修できない場合,代的に履修できる
	選択必修「心理学特別研究B」	2	2	秋ABC	随時	
選択必修「心理学特別研究S」	2	2	通年	応談	合計2科目(4単位)	
心理基礎科学 共通科目	必修「心理基礎科学演習Ⅰ」	2	1	春AB	水3・4	それぞれの指導教員が指導学生の研究を支援する演習授業
	必修「心理基礎科学演習Ⅱ」	2	1	秋AB	水3・4	
	必修「心理基礎科学演習Ⅲ」	2	2	春AB	水3・4	
	必修「心理基礎科学演習Ⅳ」	2	2	秋AB	水3・4	
心理基礎科学領域専門科目 心理臨床学領域専門科目						両サブプログラムの「領域専門科目」から14単位以上 合計14単位以上
領域専門科目として基礎科学サブプログラムの学生が履修可能な科目 基礎科学サブP:「感覚知覚心理学特講」「心理学と認知支援工学特論」「認知心理学特講」 「教育心理学特講」「行動デザイン特講」「青年心理学特講」 「臨床社会心理学特講(心の健康教育に関する理論と実践)」「社会心理学特講」 「計量心理学特講」「自己心理学特講」「神経科学基礎論A」「神経科学基礎論B」 「神経科学基礎論C」「神経科学基礎論D」 心理臨床学サブP:「児童臨床心理学特講」「発達臨床心理学特講」 東京キャンパス開講(リモート受講)「非行・犯罪心理学特講」「産業臨床心理学特講」 東京キャンパス開講(現地受講)「老年心理学特講」「キャリアカウンセリング学特講」 教育学学位P次世代学校教育創成サブP開講「学校心理学」(OATAB02)						注 心理臨床学領域専門科目には臨床心理士資格、公認心理師資格に関係して基礎科学サブプログラムの学生が履修できる科目に限りがありますのでご注意ください

「非行・犯罪心理学特講」と「産業臨床心理学特講」は東京地区の 修了に必要な単位数 合計30単位以上
講義を筑波地区の教室でTV会議システム又はZoom・Teamsで視聴

(修了要件)

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。

次の履修方法により30単位以上を修得すること。

(1) 心理学関連科目－基礎科目 次の科目を含む8単位以上

- ・必修4単位(心理学方法論Ⅰ,Ⅱ)
- ・選択必修4単位(特別研究A, B, S)
- ・選択科目(心理学先端研究1, 心理学先端研究2, 心理学キャリア形成, 心理学インターンシップ)

(2) 心理学関連科目－専門科目

- ・心理基礎科学共通科目 必修8単位(心理基礎科学演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ)
 選択科目「心理統計学基礎」「心理統計学特講」「心理基礎科学英語1」
 「心理基礎科学英語2」
- ・両サブプログラムの領域専門科目から14単位以上

上記のほか、学位プログラムの指定する科目を専門科目に含めることができる。
学位プログラムの指定する科目:学術院共通専門基盤科目, 大学院共通科目

人間総合科学学術院人間総合科学研究群博士前期課程
心理学学位プログラム 心理臨床学サブプログラム 履修方法・修了要件

科目区	科目名称	修得単位数	標準履修年次	開講学期	曜時限	備考
基礎科目	必修「心理学方法論Ⅰ」	2	1	春AB	火1・2	合計2科目（4単位） 通常はAとBを履修する Sは特別な事情（留学・休学等）でAまたはBが履修できない場合、代替的に履修できる 合計2科目（4単位）
	必修「心理学方法論Ⅱ」	2	1	秋AB	火1・2	
	選択必修「心理学特別研究A」	2	2	春ABC	随時	
	選択必修「心理学特別研究B」	2	2	秋ABC	随時	
	選択必修「心理学特別研究S」	2	2	通年	応談	
心理臨床学共通科目	臨床心理学特講Ⅰ	2	1	春AB	金3・4	臨床心理実習Ⅰ・同Ⅱの組み合わせか発達臨床心理学実習Ⅰ・同Ⅱの組み合わせのどち
	臨床心理学特講Ⅱ	2	1	秋AB	火3・4	
	臨床心理面接特講Ⅰ （心理支援に関する理論と実践）	2	1	春AB	火3・4	
	臨床心理面接特講Ⅱ	2	1	春C	火・金3・4	
	臨床心理基礎実習	2	1	春AB・秋AB	木3・4	
	臨床心理実習Ⅰ （心理実践実習ⅡC）	2	2	春AB・秋AB	木4	
	臨床心理実習Ⅱ	2	2	春AB・秋AB	木3	
	発達臨床心理実習Ⅰ （心理実践実習ⅡD）	2	2	春AB・秋AB	木3	
	発達臨床心理実習Ⅱ	2	2	春AB・秋AB	木7	
	臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	1	夏季休業中	集中	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2	2	夏季休業中	集中	
心理基礎科学領域専門科目 心理臨床学領域専門科目	両サブプログラムの「領域専門科目」から4単位以上					合計4単位以上
<p>領域専門科目として心理臨床学サブプログラムの学生が履修可能な科目</p> <p>基礎科学サブP：「感覚知覚心理学特講」「心理学と認知支援工学特論」「認知心理学特講」 「教育心理学特講」「行動デザイン特講」「青年心理学特講」 「臨床社会心理学特講（心の健康教育に関する理論と実践）」「社会心理学特講」「計量心理学特講」「自己心理学特講」 「神経科学基礎論A」「神経科学基礎論B」「神経科学基礎論C」「神経科学基礎論D」</p> <p>心理臨床学サブP：「児童臨床心理学特講」「発達臨床心理学特講」「臨床心理家族・地域援助特講」 「心理療法特講Ⅰ」「心理療法特講Ⅱ」「精神医学」「神経心理学特講」「心理実践実習Ⅰ」 A」「同ⅠB」「心理実践実習ⅡA」「同ⅡB」「心理臨床Ⅰ」「心理臨床Ⅱ」東京キャンパス 開講(リモート受講)「非行・犯罪心理学特講」「産業臨床心理学特講」 東京キャンパス開講(現地受講)「老年心理学特講」「キャリアカウンセリング特講」 教育学学位P次世代学校教育創成サブP開講「学校心理学」(OATAB02)</p>						<p>【注】</p> <p>* 臨床心理士資格の取得を目指す人は認定協会の指定するA~Eの各領域の選択必修科目をそれぞれ1科目（2単位）以上を必ず履修すること</p> <p>* 公認心理師の取得を目指す人は指定されている科目を必ず履修すること</p>

「非行・犯罪心理学特講」と「産業臨床心理学特講」は東京地区の講義を筑波地区の教室でTV会議システム又はZoom・Teamsで視聴

【注】 詳細は心理臨床サブプログラムの科目履修ガイダンスで説明します
(修了要件)

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。

次の履修方法により30単位以上を修得すること。

- (1) 心理学関連科目－基礎科目 次の科目を含む8単位以上
 - ・必修4単位（心理学方法論Ⅰ,Ⅱ）
 - ・選択必修4単位（特別研究A, B, S）
 - ・選択科目（心理学先端研究1, 心理学先端研究2, 心理学キャリア形成, 心理学インターンシップ）
- (2) 心理学関連科目－専門科目
 - ・心理臨床学共通科目 18単位選択（臨床心理実習Ⅰ及びⅡまたは発達臨床心理実習Ⅰ及びⅡを含む）
 - ・両サブプログラムの領域専門科目から4単位以上

上記のほか、学位プログラムの指定する科目を専門科目に含めることができる。

学位プログラムの指定する科目：学術院共通専門基礎科目、大学院共通科目

修了に必要な単位数

30単位以上